

国語科学習指導案

授業者：3年1組 平盛 宏美
2組 村上 芽未
3組 石井 宏明

- 1 学年・組 3年1組（29名） 3年2組（30名） 3年3組（30名）
- 2 単元名 四コマまんがでお話を紹介しよう「三年とうげ」
- 3 単元について

○ 本単元では、学習指導要領「C読むこと」(ウ)「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」と(オ)「文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと」をねらいとしている。そのため、単元のゴールとして、四コマまんが作りを設定することで、登場人物のセリフを考えたり、印象に残った場面を絵に表したりすることから想像を広げていく必然性が生まれると考えられる。

教材文「三年とうげ」は、4つの場面から構成されている。「三年とうげ」がどのようなところかを、言い伝えとともに解説した第1場面。転ぶと三年しか生きられない峠でおじいさんが転び、病気になってしまう第2場面。水車屋のトルトリが登場して機転を利かせた提案をする第3場面。提案を実行したおじいさんが元気になる第4場面により物語が構成されている。ちょっとした機転で不幸を幸せに転じた、万国共通の民衆のたくましさや昔の人々の生きるための知恵を感じ取ることができる物語である。「三年とうげ」は、朝鮮半島に伝わる民話であり、民話独特の語り口で楽しく、リズムカルなお話である。朝鮮半島の農村の雰囲気をも十分に表現した挿絵があり、読み手の想像をかき立てる。

この教材を通して、時、場所、登場人物などの物語の設定、さらに、起承転結の4つの構成をつかみ、四コマまんがを作成していく。作成した四コマまんがを友達と発表し合うことで、作品の読み方や感じ方が一人一人違うということに気づくことができる教材である。

○ 児童は、1学期に「もうすぐ雨に」を学習し、場面の様子を思い浮かべながら音読し、表現の面白さを味わう学習をしてきた。「ちいちゃんのかげおくり」では、場面の移り変わりをとらえて、心を打たれた場面を中心に、感想をまとめた。児童の実態は次の通りである。

① 場面と場面を関係づけて読んでいる。	86%
② 登場人物の行動や気持ちの変化をつかんでいる。	60%
③ おもしろかった所とその理由を書いている。	56%

上の結果からわかるように、場面の移り変わりをとらえて読む力はついてきているが、登場人物の行動や気持ちの変化に着目して読むことができる児童は少ない。叙述や挿絵を基に読み取ったことを、理由とともに感想として書く力の定着も不十分である。

児童は、「きつつきの商売」で、きつつきや野うさぎ、野ねずみの家族の行動を動作化してお話の世界を楽しんだ。また、登場人物の行動や会話から想像を広げ、読む速さや間のとり方、声の強弱に気をつけて、低学年に音読劇として紹介した。その際にはペア学習、グループ学習を取り入れて、自分の意見を発表し、いろいろ出た意見を一つにまとめる経験を積んできた。児童の実態は次の通りである。

① 自分の考えを伝え、相手に質問をしたり意見を言ったりできる。	35%
② グループで、うなずきなどの反応をしながら相手の考えを聞ける。	47%

付箋に音読の工夫を書いて台本に貼ったり、劇をしたりする学習が好きな児童は多いものの、ペアでの学び合いの際に、自分の考えを相手に伝えるのは、苦手な児童が多い。その理由としては、「自分の考えに自信がない。」「どのような言い方をしたらいいか分からない。」等があげられた。そして、「きつつきの商売」のグループ学習では、自分の意見を発表できる児童が率先してグループをまとめ、音読劇を作り上げていく姿も見られた。

児童実態からみる課題

【課題となる力】

- 登場人物の行動や気持ちの変化を読み取る力。
- 意見や物語の感想を叙述を基に伝え合う力。

【指導上の課題】

- 読みの観点として「登場人物の行動」「気持ちの変化」を読み取らせる指導が不十分であった。
- 理由や感想の理由を叙述を基に考えさせる指導が不十分であった。

- 指導にあたっては、四コマまんがを作成し、登場人物のセリフを考えたり、印象に残った場面を絵に表したりすることを単元のゴールに設定する。並行読書として世界中の民話や昔話を読む中で、友達に紹介したい本を選び、四コマまんがを作成する。

この課題解決に向けて、0次では、世界各国の民話や昔話の読み聞かせをし、民話や昔話に興味を持たせる。そして、朝鮮半島に関わる写真や道具を掲示して、お話の世界に引き込ませる。第一次では、教材文を読んで、読後感を書き、交流する。つけたい力を確認した後、単元のゴールを決め、学習計画を児童とともに立てる。そして、話のおおまかな内容を児童から引き出す。第二次では、「組み立てブック」を使って場面分けや気持ちの変化をとらえさせる。まず、起承転結の4つの構成に合わせて場面分けをする。トルトリの話の前後でのおじいさんの気持ちの変化や物語の中でおもしろいと思うところについて話し合わせる。そして、「三年とうげ」を学習して学んだことが伝わるように、絵と吹き出しや見出しを入れて、場面ごとに四コマまんがにまとめさせる。第三次では、「三年とうげ」の四コマまんが作りを振り返って、四コマまんがのポイントを確認させる。自分が選んだ民話や昔話の四コマまんがを作ることで、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化についてまとめさせる。作った四コマまんがを友達と紹介し合い、感想を話し合う中で、一人一人の感じ方の違いに気づかせていく。

協働的に学ぶための授業づくりの工夫として、グループで「三年とうげ」の四コマまんがについてアドバイスし合う活動を行わせる。読み手への伝わり方を友達から聞くことにより、表現の効果について振り返り、表現する力を高めることができると考えられる。アドバイスが十分にできない児童は、よかった点や感想から伝えるように指導する。また、毎時間、「めあて」に対する「自分のA」を決めさせ、目標をもって授業に臨むようにさせる。また、終末で行う「振り返り」では、自分で立てたA評価を振り返りの視点とさせる。一時間の授業でどんな力がついたのか、友達からどのようなことを学んだのか等を振り返り、学びを確実なものとしていく。そして、自分の

考えをもたせるために、一人読みの時間をとって「組み立てブック」やノートに書き込ませる。その時、「時」「場所」「登場人物」などの観点を提示したり、本文に線を引いて根拠としたりして考えさせていく。ペア学習やグループ学習では、一人読みで考えたことを友達に伝えたり、自分の考えと比較して友達の考えを聞いたりする中で、児童が主体的に学べるようにしていく。

指導改善ポイント

- 「登場人物の行動」「気持ちの変化」を表す叙述に着目し、場面分けをさせる。
- 四コマまんがを読んだ感想を友達と交流し、感想を伝える時の表現の仕方身につけさせる。

【指導の工夫】

- おじいさんの行動や会話文に、色分けした線を引かせ、おじいさんの気持ちの変化をつかみやすくする。
- 感想を書くときや話すときの型を示し、叙述を基に自分の感想を持たせる。

【城北中学校区共通の授業改善の視点】

- ・ J (じっくり考える) … 場面の移り変わりや人物の心情の変化を考える際にじっくり考えさせる。
- ・ H (はっきり表現する) … 作った四コマまんがのよさや改善点を話し合う場面でははっきり表現させる。
- ・ K (繰り返し粘り強く挑戦する) … 毎時間の音読や組み立てブックへの書き込みの中で繰り返し指導していく。

4 単元の目標・つきたい力

単元の目標

- 民話や昔話のおもしろさを見つけながら、進んで読書しようとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- ◎ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むことができる。
(読むこと ウ)
- 色々な物語を読んで感想を交流し、感じ方の違いのあることに気付くことができる。
(読むこと オ)
- 表現したり理解したりするために必要な語句を増やすことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ (オ))

つきたい力

- ◎ 場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化をとらえる力。
- ㊦ 場面のうつりかわりや登場人物の気持ちのへんかを読む力。

第4学年へのつながり

学習指導要領

〔C 読むこと〕

- ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。
- オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。

5 単元の観点別評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
「場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化をとらえ、表現する言語活動」を通じた指導 〔具体的な言語活動：四コマまんがでお話を紹介しよう〕		
○ 民話や昔話のおもしろさを見つけながら、進んで読書しようとしている。	◎ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読んでいる。(ウ) ○ 色々な物語を読んで感想を交流し、感じ方の違いがあることに気づいている。(オ)	○ 表現したり理解したりするために必要な語句を増やしている。(イ(オ))

6 指導と評価の計画

(全11時間 本時☆印)

次	学習内容(時数) ○ 発問	評価			
		関	読	言	評価規準(評価方法)
一	・「三年とうげ」を読んで、感想を交流する。(1/11)	◎			・おもしろいと思ったところや疑問に思ったことを中心に、感想を発表している。(ノート)
	・つきたい力を確認する。 ・単元のゴールを決め、学習計画を立てる。(2/11)	◎			・単元のゴールに向けた、計画を立てている。(ノート)
	・四コマまんがの組み立てについて知る。(3/11)			◎	・四コマまんがから物語の構成(起承転結)をつかんでいる。(組み立てブック)
☆ 3-2	・時、場所、登場人物をおさえ、4つの場面(起承転結)に物語を分ける。(4/11) ○どこから場面が変わっているでしょうか。 ・登場人物の気持ちの変化を考える。(5/11)		◎		・理由(時、場所、登場人物)とともに、物語を4つの場面に分けている。(行動観察、組み立てブック)
☆ 3-3 二	○トルトリの話の前後でおじいさんの気持ちはどのように変わったのでしょうか。 ・「三年とうげ」の四コマまんがを作り、友達と交流する。(6・7/11) ○「三年とうげ」の四コマまんがを読んで、友達に感想を伝えましょう。		◎		・叙述や挿し絵から想像を広げ、登場人物の気持ちの変化を考えている。(行動観察、組み立てブック) ・作った四コマまんがを友達と交流し、感想を伝えている。(行動観察、作品)
☆ 3-1	・民話や昔話を四コマまんがにまとめる。(8・9/11) ○民話や昔話を四コマまんがにまとめましょう。 ○友達と四コマまんがを交流して、自分の作品を完成させましょう。		◎		・場面の移り変わりや人物の気持ちの変化をとらえて、四コマまんがにまとめている。(行動観察、作品)
三	・四コマまんがをもとに昔話や民話を紹介する。(10/11) ○昔話や民話の紹介を聞いて、感想を伝えましょう。 ・学習を振り返ってまとめる。(11/11)		◎		・友達による昔話や民話の紹介や感想の交流を通して、一人一人の感じ方の違いに気づいている。(ノート) ・単元の学習を通してついた力を具体的に振り返っている。(ノート)

7 本時の学習（2組）

（1）本時の目標（第4時／全11時）

時，場所，登場人物をおさえ，4つの場面（起承転結）に物語を分け，物語の全体をつかむことができる。

（2）授業の視点

叙述や根拠となる言葉を基に4つの場面（起承転結）に物語を分け，物語の全体をつかませる。

（3）本時の学習展開

	学習活動 ◎発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意事項 ☆つまずきへの支援	【観点】 評価規準 (評価方法)
課題の提示 (5)	<p>1 単元のゴールを確認し，前時までの振り返りをする。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">物語を4つの場面（起承転結）に分け，物語の全体をつかむ。</p> <p>3 自分の振り返りの視点を設定する。 例 A 4つの場面の内容が分かる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最終ゴールを確認することで本時の学習に対する意欲を高めさせる。 	
課題の解決 (30)	<p>4 物語を音読して，4つの場面（起承転結）に分ける。</p> <p>◎ 四コマまんがにするために，物語を分けましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「承」は，「ある秋の日のことでした。」から始まる。 「転」は，「そんなある日のこと，」からだと思ふ。 <p>5 グループで考えを伝え合い，まとめる。</p> <p>◎ どうしてこのような分け方にしたのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時が「ある秋の日」から「そんなある日のこと」と変わっているから。 場所が「三年とうげ」から「おじいさんの家」に変わっているから。 登場人物のトルトリが加わったから。 	<p>K（繰り返し挑戦する）</p> <ul style="list-style-type: none"> 時，場所，登場人物に注目して，繰り返し音読させる。 どこで起承転結に分かれるか考えながら，音読させる。 時，場所，登場人物を組み立てブックに書き込ませ，分ける根拠にする。 机間指導をし，それぞれのグループの考えをみていく。 <p>☆ 根拠となる言葉に着目するようアドバイスする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">J（じっくり考える）</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと友達の考えを基に4つの場面の分け方をじっくり考えさせる。 	<p>【読む能力】</p> <p>理由（時，場所，登場人物）とともに，物語を4つの場面に分けている。</p> <p>(行動観察，組み立てブック)</p>

7 本時の学習（3組）

（1）本時の目標（第5時／全11時）

トルトリの話の前後でおじいさんの気持ちはどのように変わったのか考えることができる。

（2）授業の視点

おじいさんの気持ちの変化について叙述を基にして話し合わせる。

（3）本時の学習展開

	学習活動 ◎発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意事項 ☆つまずきへの支援	【観点】 評価規準 (評価方法)
課題の提示 (5)	1 単元のゴールを確認し、前時までの振り返りをする。	・最終ゴールを確認することで本時の学習に対しての意欲を高めさせる。	
	2 本時のめあてを確認する。 トルトリの話の前後でおじいさんの気持ちはどのように変わったのか考える。		
課題の解決 (30)	3 自分の振り返りの視点を設定する。 例 A 人物の行動や会話文を参考にして考える。		
	4 本文を音読する。(2～4場面) 5 おじいさんの様子や言動の変化をとらえる。 ◎ 暗い様子が伝わる表現には青で、明るい様子が伝わる表現には赤で線を引きましょう。 ・「真っ青になり、がたがたふるえました。」は暗い感じがします。 ・「けろけろっとした顔」から明るい様子が伝わってきました。 6 おじいさんの気持ちの変化について考える。 ◎ トルトリの話の前後でおじいさんの気持ちはどのように変わりましたか。 ・ごはんも食べられないくらいかなしかったが、すっかり元気になって幸せな気持ちになっている。 ・「もう生きられない」から、「これで長生きできるぞ」という前向きな気持ちに変わった。	K (繰り返し挑戦する) ・おじいさんの行動や会話文に注目して、繰り返し音読させる。 ・おじいさんの行動や会話文に注目して、音読させる。 ・表情や会話文の変化を対比して、板書する。 J (じっくり考える) ・線を引いた箇所をもとにおじいさんの様子や言動の変化をじっくり考えさせる。 H (はっきり表現する) ・叙述をもとに、おじいさんの気持ちの変化をはっきりと発表させる。 ☆ トルトリの話の聞く前の気持ちを児童と共に考え、対になる気持ちを自分で考えるよう伝える。	【読む能力】 叙述や挿し絵から想像を広げ、登場人物の気持ちの変化を考えている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ ペア学習で考えを交流し、友達と自分の考えの共通点や相違点に気づかせる。 ・ おじいさんの考え方や気持ちの変化を組み立てブックに書き込ませる。 	(行動観察, 組み立てブック)
<p>まとめ・振り返り (10)</p>	<p>7 本時のまとめ・振り返りを書く。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>おじいさんは、三年とうげで転んでしまい、もう助からないという悲しい気持ちだったが、三年とうげで何度も転んだから、何年でも生きられるという幸せな気持ちに変わった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ふとんにもぐりこみ」と、「ふとんからはね起き」を比べて、おじいさんの気持ちの変化を考えることができた。</p> </div> <p>8 次時の活動について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流したことを生かし、自分の考えをまとめさせる。 ・ 次時は、組み立てブックをもとに、四コマまんがを作ることを確認する。 	

7 本時の学習（1組）

（1）本時の目標（第9時／全11時）

四コマまんが（下書き）を交流し合い、友達の見意をもとにさせて、自分の四コマまんがを完成させる。

（2）授業の視点

「四コマまんがのポイント」から友達の作品に対してアドバイスをさせることで、自分の作品をよりよいものに作らせる。

（3）本時の学習展開

	学習活動 ◎発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意事項 ☆つまずきへの支援	【観点】 評価規準 (評価方法)
課題 の 提示 (5)	1 単元のゴールを確認し、前時までの振り返りをする。	・最終ゴールを確認することで本時の学習に対しての意欲を高めさせる。	
	2 本時のめあてを確認する。		
	3 自分の振り返りの視点を設定する。 例 A 友達の四コマまんがを読んで感想を伝え、自分の作品に取り入れる。		
課題 の 解決 (30)	4 「四コマまんがのポイント」から友達の作品を読む時の視点をつかむ。 ◎ 「四コマまんがのポイント」にはどんなものがありますか。 ・4つの場面に分かれ、その場面で一番伝えたいことが絵や言葉で入っている。 ・セリフなどの言葉はなるべく少なくする。絵で表す。 ・3コマ目は、最後がどうなるか分からない(わくわくする)内容にする。	・友達がどんなところをおもしろいと感じているのかをつかませるために、視点を全員で確認する。 K（繰り返し挑戦する） ・四コマまんがのポイントから、繰り返し場面の移り変わりに気をつけるなどつけたい力を確認させる。	
	5 グループで四コマまんがを読み合い、感想を交流する。 ◎ グループで友達の四コマまんがを読み合いましょう。そして、よかったところやもっとよくなる所を交流しましょう。 ・吹き出しから「次はどうなるんだろう」と気になるような言葉を書いていてよかった。 ・登場人物の性格がおもしろかった。 ・登場人物がどんどん成長する様子が分かった。 ・繰り返しの言葉(登場人物の口ぐせ)を使っていておもしろかった。	J（じっくり考える） ・友達の作品で「四コマまんがのポイント」に当てはまることはないか、じっくり考えさせる。 ・登場人物の性格や行動(言ったこと)、表現の仕方(文章の書き方)が、民話や昔話、物語などのおもしろさの1つだと気づかせる。	

	<p>6 交流から自分の四コマまんがを完成する。</p> <p>7 下書きとアドバイス後の作品の違いを交流する。</p> <p>◎ 同じお話を作っている友達と、下書きと変わったところを交流しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○くんから吹き出しの言葉を短くするといよいよと言われて変えた。 ・ 3コマ目を読んで「次はどうなるんだろう」と思うように絵や吹き出しを描き加えた。 <p>8 自分の作品がどう変わったか、全体で交流する。</p>	<p>☆ 自分の四コマまんがと違うところを見つけさせたり、「四コマまんがのポイント」のどれに当てはまっているか探させたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成する中で分からないことがあれば、グループの友達にアドバイスをもらうように声をかける。 ・ 同じ話の四コマまんがを作った児童が集まって、グループ交流で始めと変えた所や、よく分かったところを話し合わせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>H (はっきり表現する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ作品同士で交流させて、下書きと変わったところ話し合わせる。 </div>	<p>【読む能力】 場面の移り変わりや人物の気持ちの変化を捉えて、四コマまんがにまとめている。 (行動観察、作品)</p>
<p>まとめ・振り返り (10)</p>	<p>9 本時のまとめ・振り返りを書く。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「四コマまんがのポイント」で友達の作品を読み合って、登場人物の様子や気持ちが分かるように作り直して完成できた。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○○君の四コマまんがを読んで、登場人物の口ぐせを書いているおもしろかったので、自分の四コマまんがにも使ってみて完成できた。友達の完成した作品を読むのが楽しんだ。</p> </div> <p>10 次時の活動について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流したことを生かし、自分の考えをまとめさせる。 ・ 次時は、友達の作品のよいところを自分の作品に取り入れることを確認する。 	